

抜粋解説！  
日本大改革プラン！

# 成長のための規制改革とフロー大減税

政治と企業のしがらみを打破！



日本の生産性が低く、経済が成長しない最大の理由は新たな企業の参入や新技術の社会実装を阻んできた規制政策や硬直的な労働市場政策にあります。

古い政治家が今の体制で支配的な企業や団体から献金を受け取り、新規参入や技術革新が起こりにくいように規制の網を張り巡らせています。

可処分所得を増やし、経済を潤す！

度重なる増税や社会保険料の高騰によって国民の可処分所得は下がり続け、日本経済は消費の伸び悩みに苛まれつづけてきました。

また、働くほどに税率が上がる累進課税制度や、働きたいのに扶養の範囲を超えないように勤務を減らさざるを得ない税制が日本の労働生産性を低下させています。



日本大改革プランで実現！

- 消費税の減税による消費喚起
- 既得権化した規制の大改革
- 硬直した労働市場の流動性UP
- 労働所得の大幅減税による可処分所得UP
- フラットタックスの導入による労働インセンティブの強化

# 格差解消

のための税と社会保障改革

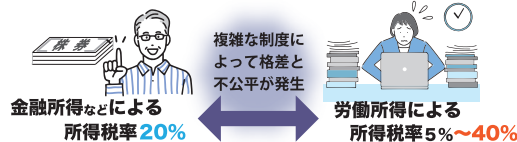
事後対処型から事前型へ、有事にも強い社会保障

コロナ禍が長期化する中で分かってきたことは、困窮してはじめて申請できる事後対処型の制度では、申請の受付だけで膨大な時間がかかる上、支援が必要な人を確実に捕捉できないという問題です。

全ての人に平時から最低限の所得を支えるベーシックインカム（最低所得保障）等の事前型へ制度転換を図ることで、誰もが安心してチャレンジでき、有事の際にも確実に収入が保証されるセーフティネットを構築します



公平・簡素な制度で不公平性を解消！



日本の税制は昭和の古い時代をモデルとした労働者に重い課税モデルであり、1億円以上も資産を持つ大金持ちであっても、働く人よりも所得税率が低くなる逆累進性が生じています。所得の種類によらず、総合的に課税するシンプルで公平な仕組みに改めるべきです。

日本大改革プランで実現！

- 全国民に公平に行き渡る事前型セーフティネットの導入
- 最低所得の保障による負の連鎖の解消（ベーシックインカム等）
- 総合課税方式による不公平税制の解消
- 資産流動性の向上と資産課税の適正評価



日本維新の会が目指すのは  
誰もが公平で平等にチャレンジできる社会！

これまでの政治の延長線上に、輝く日本の未来はありません！

# 今こそ、日本の政治に大改革を！

発行日 2021年10月13日

日本維新の会



日本維新の会

機関紙

日本維新

衆議院

大阪12区支部  
(大阪府寝屋川市)  
八坂町24-6-101  
発行

大阪のみなさんとともに！

# 改革をさらに前へ！

副代表  
吉村洋文

格差解消！経済成長！  
持続可能な社会保障！

衆議院議員  
藤田文武

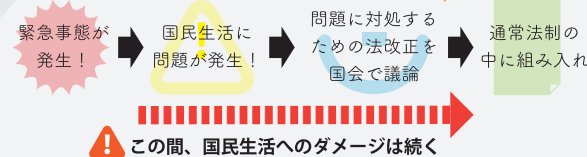
## 譲れない！アフターコロナの危機管理改革！

新型コロナウイルスの流行によって、今の日本の危機管理体制では国民の生活や命を十分に守れないということが明らかになりました。

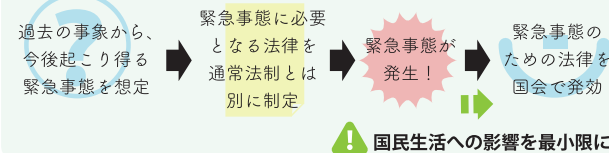
維新の会ではこの教訓を活かして日本の危機管理のあり方そのものを改革する必要があります。

今までのように緊急事態が起きてから、必要な法改正を議論するのではなく、平時から緊急事態に発効する法整備をしておく方式へ、根本的な仕組みの改革が必要です。

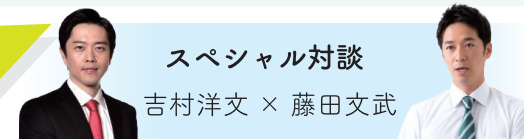
現在の危機管理のあり方



維新の改革プラン



## 日本の未来を切り拓く税・社会保障改革！



スペシャル対談

吉村洋文 × 藤田文武

仮にこの先、コロナ禍がワクチンや治療薬によって終息したとしても、人口減少や高齢化、社会保障費の増大や低成長経済など、日本が

コロナ禍以前から抱えていた構造的な問題は未解決のまま残ります。国の未来に責任を持つ政治家は、今こそ未来への具体策を示すべきです。

中面で日本の未来を大いに語ります！



## 誰もが思っているのに 誰もやらなかったこと

**吉村** 藤田さん、日本大改革プランの策定お疲れ様でした。今回の改革プランは藤田さんがほぼ一人で作ったと聞いていますが、なぜこのプランを作ろうと思ったのでしょうか。

**藤田** いや、一人では作ってないですよ(笑)。とりまごめの座長のような形で関わらせて頂きましたが、作成には党のメンバーが総力を挙げて臨みました。元々大阪維新の会が大阪都構想という非常に明確な政策目標を掲げて活動しているのに対して、日本維新の会は何を目指すのかという、共有できるビジョンみたいなものが必要を感じていました。

**吉村** 確かに、都構想を実現するために国の法律を変えないとできないという課題が当初あって、そのために大阪から国政に進出するというのが日本維新の会の結党の目的だったもんね。

**藤田** そうなんです。なので、大都市法が成立して、結果としては否決されましたが住民

投票まで実施することができたいま、日本維新の会の次なる明確な政策目標みたいなものが曖昧になってきている感はずっと課題に感じていました。

**吉** それで、一人で全部作ってしまったんやね(笑)。

**藤** だから一人ちゃいますって。こんな一人で無理ですから(笑)。冗談はおいて、このプランの根本の思想はどういうことなんやろう。

**藤** 実はプラン自体は壮大な大改革プランになっていますが、思想の部分はとてもシンプルなんです。今の日本社会に漂う閉塞感とか不安感っていうものを引き起こしている原因を分析していくと、結局は制度が国民の実態と合っていないからだと、これが分かれます。なので、国民の実態に即した制度は何だろうという、その一点に集中して日本の税制や社会保障制度を見直しました。

**吉** それは言葉にすると簡単やけど、膨大な作業だったでしょう。

**日本人の手取り収入は30年間で大きく減少している。**

## 日本に必要なのは 建設的な「プランB」

**吉** それで、ここが一番難しい部分だと思っただけ、これをどうやって実現させるつもりなの。僕は維新の会が今大阪で有り難くもこれだけの支持を頂いているのは、常に行うべき

必ず住民から賛否の議論が起るから、現状維持、微修正が一番楽に政権運営を続けられるのは間違いないからね。

**藤** ただ、それは国民に未来への選択肢が知られていないからだと思うんです。野党は自民党の政策の問題点や懸念点は指摘しますが、「じゃあ、他にどんなやり方があるのか」ということはほとんど提案しません。その結果、現状維持、微修正の与党案が、さらに現状維持に修正されて可決されるといのが、僕が見てきた今の国会の現状です。

**藤** もちろんです。僕は今の日本の政治に最も必要なものは、建設的な「プランB」だと思っっているんです。

**吉** とうとうと。

**藤** 今の国会は万年与党の自民党と万年野党の民主系政党の出来レースになっていると感じます。与党自民党は安定した選挙地盤のもとに、大きな改革は提案せず、現状維持、微修正路線で、本気で日本の未来を大きく変革しようとはしていません。一方野党民主系は与党の足を引っ張ることに終始して、2009年に自民党の不祥事が続いて政権交代が起こるとその政権運営能力の無さが露呈しました。

**吉** 自民党の「プランA」に対して維新の会が「プランB」を提示することで、国民の皆さんにどっちの選択肢が良いのか見えやすくするっていいことやね。

**藤** その通りです。そして、対案を示すことで、もともと自民党案を批判で後退させるのではなく、前へ踏み越えていくための国民的議論を巻き起こしたいと考えています。

**吉** 大きな変革を起こそうとすると

批判のブレイクではなく、対案のアクセルで、原案を踏み越える!

## 日本維新の会が思い描く 日本の未来

**吉** この日本大改革プランは確かに、自民党の社会保障改革の考え方に真つ向かう議論を戦わせるための土台を作ったとも言えるね。

**藤** はい、まさに日本の社会保障を今後どうするのかの本格的な議論のスタートポイントだと思います。

**吉** 日本の社会保障改革はあらゆる指標を見ても今までは持続不可能だったってことが共通認識になっていって思う。でも、国会では立て直しに向けた本格的な議論はなされずに相変わらずの微修正でなんとか制度の延命を図ってきている状態だと僕は思っているんだけど、ぜひ藤田さんにはその大きな岩の戸をどかーんと開けるような、ダイナマイトになるような活躍をお願いしたいね(笑)。

**藤** そのつもりです!(笑)。維新の会と自民党の違いは色々ありますが、まず大きく違つのは、結局自民党は現状の枠組みや利害関係者の既得権を維持したままの改革しか出来ないのに対して、維新の会はしがらみに囚われず、枠組みから変えるような大きな改革ができるってことだと思えます。

**吉** 企業からの献金を受け取らない

**吉** これまでの古い政治では日本の

政策設計思想の対比 (自民党/日本維新の会)	
自民党	日本維新の会
現状の社会システムを維持(微修正の改革)	修正ではなく時代に合った社会システムを一から創る
特定の支援団体に配慮	しがらみなく、広く国民に支持される政策を選択
利害関係者の合意を重視	合理性や効率性を重視
国が決める中央集権型政治	地方に裁量を任せる地方分権型政治
公共工事や公的支出による経済活性化を指向	経済活動は民間が主導し公は環境整備に専念

維新の会と、多額の企業献金に支えられている自民党との違いやね。

**藤** どっちが善でどっちが悪かっていうことはなくて、これは本党に党のスタンスの違いだと思います。ただ、そういう内閣の目標で、目の前の声の大きな利害関係者に配慮した政治をやってきた結果、日本の経済は弱くなり、社会には格差不安が広がっているのも事実です。

未来は限界にきているというのには誰の目にも明らかやからね。ここでハアーンと大改革して、日本の未来を大きく成長させましょう!  
藤 志は高く一緒に日本を変えていきましょ!

**日本維新の会はしがらみに囚われず大改革ができる**